

あとがき

次長 小尾 俊彦

各学校および各教育機関におかれましては、日ごろから本センターの諸事業に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。併せて、本センターの研究推進に当たりご協力、ご指導いただきました研究推進校、山梨大学、山梨県教育庁の関係各位に厚く御礼申し上げます。

さて、中央教育審議会が目指すべき新しい時代の学校教育として「令和の日本型学校教育」を示してから2年が過ぎ、各学校でも、全ての子供たちの可能性を引き出す取り組みを進めていることと存じます。

本県でも先月、令和5年度 学校教育指導重点が示され、山梨県教育の目指す「学び続ける人」「共に生きる人」「未来を拓く人」の育成に向けて、各校種を通じて県全体で重点的に取り組むべき指針が示されました。その中にある「確かな学力の育成」の主な取り組みに、「学習者を主体とした授業づくりを行い、自ら課題を見付け、自ら解決に向かう力を高める。」という記述があります。これは、学習指導要領の趣旨を踏まえた「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、新しい時代に必要となる資質・能力の育成を図る上で、我々教育関係者が一丸となり新たな一歩を踏み出す、大きな意識改革を必要とするものです。

本センターでは、この大きな意識改革を進める先生方のお役に立てるように、「学校教育を支援する確かな情報発信源」として、研修、研究、相談等の業務を行っています。

研究分野においては、今日的な教育課題の解決に向け、研究推進校の先生方と共に、学校支援と教職員の資質の向上につながる実践的な研究を進めています。令和5年2月21日にオンラインで開催いたしました研究大会では、『「新たな時代に対応する学校教育への総合的な支援」—求められる資質・能力の育成に向けた実践的指導の在り方—』をテーマに、本年度の研究について、多くの先生方にお伝えするとともに、ご意見を伺うことができました。また、特別講演では、東北大学大学院/東京学芸大学大学院 教授 堀田龍也 氏をお迎えし、「令和の日本型学校教育におけるICT活用に関する考え方」と題してご講演いただき、新しい指導観、授業観をとらえた授業改善の取り組みについての最新情報を得る機会となりました。本大会の開催にご尽力いただいたすべての皆様方に、改めて御礼申し上げます。

本紀要は、各教育機関へのCD配布とともに総合教育センターホームページに掲載されます。収載された研究報告が、各学校等における教育活動や校内研究、また研修充実のための一助になれば幸いです。

今後も本センターに対する皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。あとがきとさせていただきます。

